

## 3月は振り返りの月です

附属旭川小学校長 南部 正人

2月は光の春と呼ぶそうです。旭川の2月の気温はまだまだ低く、真冬が続きました。しかし、昼の時間が伸びて光を強く感じるようになります。北国では特に、光の中に春を感じられます。そして、3月は音の春と呼ぶそうです。鳥の鳴き声や雪解けの音によって本格的な春を感じます。積雪はまだまだ冬を思わせますが、これから日に日に音で春を感じられることでしょう。

春の訪れの3月は振り返りの月です。この1年間、そして6年生の児童と保護者の皆様にとっては6年間を顧みると様々な思いがよぎるかと思います。まずは、保護者の皆様方の御理解と御協力のおかげで学年末を迎えられたことに、深く御礼を申し上げます。今年度も、まさにコロナ禍での1年間となり、運動会、学習発表会等の行事をはじめ、様々な教育活動では、保護者の皆様、PTA役員会、そして地域の皆様の御理解、御協力なくしてはどれも実施することはできませんでした。さらには、オンライン授業への御対応について御尽力を賜り、「学びを止めない」を実施することができました。本当にありがとうございました。しかし、今後も、予断を許されない状況です。引き続き御高配をいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

御存じのとおり、本校の学校目標は「主体的人間の形成 ～よく見 よく聞き よく思い 心も体もたくましい人間を目指します～」です。児童を取り巻く社会環境や教育環境が変わり、国レベル、地域レベルによって児童に求められる考え方や能力等が変遷しても、本校は、「主体的人間」の意義を大切にして、学習・教育・成長の中核に位置付けて参りました。そして「よく見 よく聞き よく思い」は具体的な活動の手掛かりとして位置付けられています。この1年間、この6年間を振り返るに当たって、この言葉を手掛かりに「何を見て、何を聞いて、何を思った」のかを御家庭でお話しいただくと幸いです。

新しい春の訪れとともに、穏やかな日常生活が戻ってきますよう願っております。今後も引き続き本校の教育活動に御支援を賜りますようお願い申し上げます。

